



さざんか

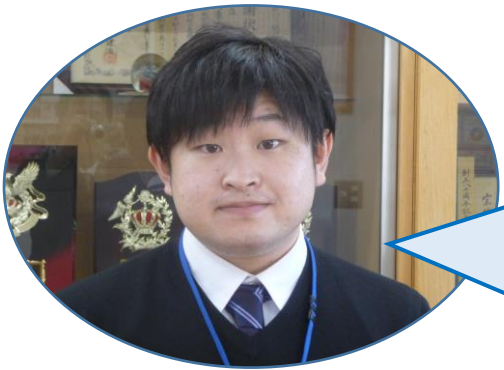
かとう学園 宗像市立河東中学校
学校通信第36号(R5. 11. 10)

宗像地区中学生英語スピーチコンテストで、 高津 千佳子さんが最優秀賞を受賞!



11月3日(金)、福津市中央公民館にて第14回宗像地区中学生英語スピーチコンテストが開催されました。本校からは、課題部門で8年生の水草寿太さん、フリー部門で9年生の古賀映斗さん、高津千佳子さんの3名が出場しました。審査の結果、高津さんは見事最優秀賞に輝き、12月2日(土)に九州産業大学で行われる福岡県スピーチ交流会へ進出することになりました。

新しい先生が赴任されました。理科の中村太一先生です。



こんにちは、11月から赴任した中村です!学校の講師は初めてでまだまだ緊張しています…。小さい頃から宇宙が好きで、前職では人工衛星や国際宇宙ステーションの管制官の仕事をしており、その後大学院でがん遺伝子治療の研究をしていました。理科の苦手意識を小さくしたり、おもしろいと思えることを増やしたりできるような教員になりたいと思っています。中高生の頃は理科も数学も苦手だったので、苦手な人の気持ちはすごく分かります。中高陸上部で、読書、音楽、ピアノなどが好きです。よろしくお願いします!

授業研修の風景

先週から今週にかけて実施された授業研修のうち、今回は1本の授業について掲載します。河東中では、対話活動と振り返り活動に研究の重点を置いています。その取組が全国や県の学力テストまた各種テストの結果にも反映されてきています。

齋藤先生(国語)

10月31日(火)9年2組で行われた齋藤先生による国語の公開授業。古典「おくのほそ道」を題材に松尾芭蕉の心情に迫る授業が行われました。

齋藤先生の板書構成力はいつ見ても素晴らしいものです。今回は、平泉の場面で芭蕉が見たものを手がかりになぜ涙を落したのかをグループで探るという授業でした。9-2では活発に対話活動が行われていました。また、振り返り活動として「国語日記」を齋藤先生が奨励していますが、公立入試大問4をはじめ、入試にも役立つことは間違いありません。



「日本一になろう。日本一になりたいと思わないものはなれない。」 ～全国制覇(甲子園優勝)した慶應義塾高校野球部の部訓を読んでみよう～

今年の夏の甲子園大会で優勝した慶應義塾高校野球部には、「部訓」があり「心得」と一緒にホームページで公開されています。河東中生は本日、第3回定期考査が終わり、7・8年生は今日から部活動やクラブが再始動します。9年生は本格的に受験勉強となります。慶應野球部の部訓を一部抜粋しますのでこれからの活動に参考にしてください。全文読みたい人はHPで読んでみてください。長髪やスタンドの応援で話題となった慶應野球部ですが、この部訓を読むと森林貴彦監督の人間性を大切に作る姿勢と日本一になる個とチームの考え方が伝わってきます。



『日本一になろう。日本一になりたいと思わないものはなれない。』

Enjoy Baseball (スポーツは明るいもの、楽しいもの)

礼儀正しくあれ。どんな人に対しても、どんな場にあっても、通用するのは人間性。一人一人の人間性が慶應義塾の評価を決める。挨拶は人との最初の勝負。

自分一人で生きていくと思うな。自分一人で野球をやっていると思うな。周りの者に感謝の気持ちを持って。感謝の気持ちは「ありがとう」世の中にそれほど以心伝心はない。言葉は使ってはじめて生きる。

時間厳守。組織が成り立つ、人の信頼を勝ち取る最大の武器。

個と全。グラウンド出たら個人の技術、精神力を高めるための最大の努力をせよ。そして同時にチーム全体の流れ、ムードを考えてプレーせよ。1人1人がキャプテンだと思っているチームのみが勝つ。自分がやって50、人をやらせて50。

他人の悪口を言うものの周りにはいつも悪口ばかり言っている者が集まる。自分の不運を嘆く者の周りにはいつも同じ類が集まる。結果とは関係なく自分のやっている事にプライドを持って。君は誇り高き我慶應義塾の同志だ。

グラウンド、用具は大事に。最後に神様が微笑んでくれる。

闘争心を持って。ただし相手を口で罵倒するような事はやめよう。相手の好プレーには拍手を送ろう。

グラウンドでは上級生、下級生は対等。しかし下級生は上級生に敬意を払い、上級生は下級生に色々と教え、叱り、同時に模範となる練習態度、学業態度を示せ。

理論武装をせよ。君達は将来の指導者だ。子供たちに正しい事を教えるために、ルール、技術論、フォーメーション、勝負哲学、体の構造、医学知識、栄養学、運動力学を知れ。慶應義塾は「身・技・体・学・伝」

返事はただ。広いグラウンドでは大きな声と動作がコミュニケーション。

凡人は習慣で1日を送る。天才はその日1日が生涯である。毎日が本番。大会前だけ盛り上がり全国制覇ができるか。泥棒に練習試合はない。

今の自分を許すな。自分のプログラミングが出来ない人間が負ける。

文武両道。カッコイイ生き方をしたいな。

自分の評価は自分でしろ。人の目、人の評価を気にしてばかりいるとパイプが詰まる。

自分がどんなに頑張ってもダメという相手でも、絶対に負けるのを嫌え。勝ち負けの勝負にはとことんこだわられ。負けても淡々としている奴は勝てない。早すぎるんだよ切り替えが。30対0で負けていても逆転すれば世間はそれを奇跡というんだ。自分で自分の逃げ道を作るんじゃねえ。

(コソコソと真面目だけじゃ我慢できない。とことん勝負師)

人は危機に立って初めて真価が問われるものだ。チームもここぞで点をやらなきゃいいんだろ。最後は勝てばいいんだろ。

エンドレス(いつまでもやってやろうじゃないか)』